

博多区内科医会だより

押領司行人

平成22年12月例会

12月14日（アクア博多）

講演 「いかにスムーズに外来でインスリン導入を始めるか」

順天堂大学医学部 内科学 代謝内分泌学講座

准教授 弘世貴久先生

インスリン導入のため入院できる人は少ない。入院導入の結果日本では混合型2回注射が主流となったが退院後の生活は入院時と異なり決まりどろりにできにくい。(持続型一回注射でもよい。) 血糖測定はインスリンと同時に始めなくてよい。低血糖を起こさない少量から始める。

平成23年2月例会

2月8日（アクア博多）

特別講演 『臓器保護からみた高血圧治療』

九州大学大学院医学研究院 病態機能内科学

講師 村松潔先生

ARBを中心としてckd、Dm腎症、心不全、脳梗塞などに対する有効性。アルドステロンの話。腎交感神経切除による降圧の話など

平成23年3月例会

3月8日（アクア博多）

特別講演 『骨粗鬆症診療新展開』

～高齢化社会を健やかに生き抜く方法論～

九州大学病院 代謝内分泌・糖尿病内科

講師 野村政壽先生

ビスによる大腿骨頭部骨折の問題がある。エストロゲン低下で破骨細胞活性が増え骨量低下する。薬はビスフォスフォネート、SERM(選択的エストロゲン受容体モジュレーター)、副甲状腺ホルモンがある。

2) 研究会御案内(自由参加、5単位)

消化器懇話会(博多シティセンター)

第1月曜 19:00～ 古賀安彦先生(古賀胃腸科医院)

循環器懇話会(博多シティセンター)

第4月曜日 19:00～ 林靖生先生(原三信病院)

丸山徹先生(九州大学健康科学センター)